

2025年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
34106	図書館情報技術論 Introduction to Library Information Technology	新海 弘之			2	選択	1・2前期
科目の概要							
コンピュータがあらゆる職場の業務に取り込まれるようになりました。図書館でも例外ではなく、さまざまな情報のデジタル化により、それら进行处理する情報技術と知識が必要になっています。本科目では、図書館業務に関する基礎的な情報技術を紹介し、図書館における種々のシステム（図書館業務システム、データベースなど）とインターネットの利用について学修します。そのうえで、今後のＡＩの進展を考えながら、図書館司書がどうＡＩを使いこなしていけるか、ＡＩに任せられるサービスと、やはり人が対応すべきサービスについて考えることで「ＡＩを人が使う」ということを考えます。図書館情報技術論は、ディプロマ・ポリシー①②③④⑤⑥に相当する。図書館情報技術論は司書資格をとることだけを目的とせず、情報社会における様々な情報と向き合うことや、ＡＩと人間の関わりなどについて、基礎的情報リテラシーの習得により②④⑤を身につけることを目的とします。また、図書館サービスの現状等を知ることで①⑤⑥について考えることも目的とします。							
学修内容				到達目標			
① 情報のデジタル化が社会や文化に与える影響について説明できる。 ② AI技術の進化により、リスクの高い業種に図書館司書も含まれる、その背景を説明できる。 ③ デジタルアーカイブ・電子書籍の現状と活用価値を説明できる。 ④ 様々な図書館のデジタル化の事例を参照しながら、現時点での図書館システムとインターネットを通じたデジタル化によるサービスについて説明できる。 ⑤ 図書館サービスへのAIの導入について考え、人としての司書が担うべきサービスを考案する。 ⑥ 図書館における基本的なサービスについて説明できる。				① 情報のデジタル化が社会や文化に及ぼす影響について考察し、理解する。ディプロマ・ポリシー②③に相当 ② AI技術の進化で、今後自動化されるリスクの高い職種と社会の動きを理解する。ディプロマ・ポリシー②③⑤⑥に相当 ③ デジタルアーカイブ化の諸問題と価値を理解する。ディプロマ・ポリシー②⑤⑥に相当 ④ 現時点での図書館システムとインターネットを通じたサービスの現状について理解する。ディプロマ・ポリシー②③④に相当 ⑤ 図書館司書がどうAIを使いこなしていけるか、AIに任せられるサービスと、人が対応すべきサービスについて考察することでAIを使うということを理解する。ディプロマ・ポリシー②③④⑤⑥に相当 ⑥ 図書館における基本的なサービスについて理解することができる。ディプロマ・ポリシー①に相当			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	地域の図書館、大学の図書館を利用し、どのような情報システムが導入されているか調べることができる。各図書館が提供している資料検索システムなどを使いこなすことができる。					
	働きかけ力						
	実行力	提出物（図書館業務へのAIの導入や今後の図書館の在り方についても踏み込んだグループワークによるレポート）は、期限内までに確実にやり遂げることができる。					
考え抜く力	課題発見力	授業内での問題点を解決するために、先生に質問、他の人から意見を聞くなど、解決するための行動を起こすことができる。					
	計画力						
	創造力	自分の考える図書館へのAIの導入と、人が担うサービスについて、なぜその業務をAIあるいは人へ振り分けたか、その根拠を明確にし、自由な発想と好奇心を持ち、アイデアを提案することができる。					
チームで働く力	発信力	自分の考えをまとめ、わかりやすく説明することができる。他者の意見を尊重し議論を進めることができる。					
	傾聴力	作品発表する際は、発表者の説明に対し、うなずきやあいづちをしながら聴く姿勢を持ち、工夫され印象に残るところは細目にメモをとることができる。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
テキスト：『図書館情報技術論 改訂版』 田中均著 青弓社 2,000円（+税）参考文献：なし							
他科目との関連、資格との関連							
他科目との関連：図書館フィールドに関する科目 資格との関連：図書館司書, 学校司書（大学認定資格）							
学修上の助言				受講生とのルール			
情報のデジタル化（電子書籍、電子図書館）など、ネットワーク上での検索で、利点、課題や問題点について事例を基に解説します。わからない箇所は教員に質問をしましょう。 居住する地域の図書館を利用し、その図書館の特色を調べてみましょう。				この科目は、図書館司書資格に関連します。図書館業務とサービスにおける情報技術やインターネットの活用について情報収集をし調べるという習慣を身につけましょう。 大学図書館、地元の公共図書館を大いに利用しましょう。 携帯電話の電源を切り、カバンに入れておく。 欠席者には、補習を行う。			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標			各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①		⑥		
				②				
				③				
				④				
				⑤				
	平常評価	小テスト	0	①		⑥		
				②				
				③				
				④				
				⑤				
		レポート	50	①	✓	⑥	✓	・課題1「図書館におけるデジタルアーカイブについて」 どのようなものがつくられているか調べる。今後どのようにして活かされるべきか自分の考えを述べる。（20点） ・課題2「自分のまちにあってほしいと思う理想の図書館」 自分の住んでいる町にあってほしいと思う図書館について、講義の成果をもとに自分なりに考える理想の図書館について述べる。（30点） ・授業で学んだ知識や広い分野で情報収集したことが随所にみられるレポート内容であること。 ・自分の考えが具体的に説明されており、聞き手に容易にでき、説得力のある内容の文章であること。 ・締切期日までに完成し提出されること。
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤	✓			
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	40	①		⑥	✓	図書館司書がどうAIを使いこなしていけるか、AIに任せられるサービスと、やはり人が対応すべきサービスについて考えることで「AIを人が使う」ということについて考察する。 ・図書館の仕事—人とAIの協働について（発表） プレゼンテーションの表現の仕方・説明のわかりやすさ・独自性を評価する（特に高い：40点、完成度が高く表現に工夫がみられる：30点、完成はしているが表現に工夫が必要：20点、を目安に多段階で評価する）。
				②				
				③				
				④	✓			
				⑤	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	⑥	✓	【主体性】地域の図書館、大学の図書館を利用し、どのような情報システムが導入されているか、調べる。 【実行力】提出物は、期限内までに確実にやり遂げる。 【課題発見力】授業内での問題点を解決するために、教員に質問、他の人から意見を聞くなど、解決するための行動を起こす。 【創造力】自由な発想で好奇心を持ち、アイデアを提案する。 【発信力】作品発表をする際は、わかりやすく整理し、自分の考えをまとめ発信することができる。 【傾聴力】発表者の説明に対し、うなずきやあいづちをしながら聞き、工夫されているところはメモをとり聞く。 【規律性】遅刻、無断欠席など学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。欠席した場合は欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。	
			②	✓				
			③	✓				
			④	✓				
			⑤	✓				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
S（秀）評価 ① 講義が中心になるので、毎授業の内容を理解し、積極的に取り組む姿勢（居眠りをせず）がみられる。 ② 成果発表を行います。独自の考えで具体的に説明され、工夫が随所にみられる効果的なプレゼンテーション発表ができています。 ③ 授業で紹介された図書館以外にもいろいろな図書館の取り組みを調べ、レポートや発表に生かされている。 ④ レポートにおいて、授業で学んだ知識や情報に加え、独自に広い分野で情報収集したことが随所にみられ、調査した図書館の現状を考察して、独自の提案がなされている内容になっている。 ⑤ 学習態度にある7項目が達成できている。 A（優）評価 ① 講義が中心になるので、毎授業の内容を理解し、積極的に取り組む姿勢（居眠りをせず）がみられる。 ② 成果発表を行います。独自の考えで具体的に説明され、工夫が随所にみられる効果的なプレゼンテーション発表ができています。 ③ 授業で紹介された図書館以外にもいろいろな図書館の取り組みを調べ、レポートや発表に生かされている。 ④ レポートにおいて、授業で学んだ知識や独自の情報収集の結果が随所にみられるレポート内容になっている。 ⑤ 学習態度にある7項目が達成できている。上記項目①②③④ができています。⑤の学習態度にある7項目のうち【規律性】を含む6項目が達成できている。	B（良）評価 ① 講義が中心になるので、毎授業の内容を理解し、取り組んでいる。 ② 成果発表を行います。具体的に説明され、聞き手にわかりやすいプレゼンテーション発表ができています。 ③ 授業で紹介した図書館の取り組みを調べ、レポートや発表に生かされている。 ④ レポートにおいて、授業で学んだ知識や情報が生かされているレポート内容である。 ⑤ 学習態度にある7項目のうち【規律性】を含む5項目が達成できている。 C（可）評価 ① 講義が中心になるので、毎授業の内容を理解し、取り組んでいる。 ② 成果発表を行います。具体的に説明されたプレゼンテーション発表ができています。 ③ いろいろな図書館の取り組みを調べ、レポートや発表に生かされている。 ④ レポートにおいて、授業で学んだ知識が生かされている内容である。 ⑤ 学習態度にある7項目のうち【規律性】を含む5項目が達成できている。上記項目①②③ができています。⑤の学習態度にある7項目のうち4項目が達成できている。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	授業の概要説明 情報社会の新しい文化 図書館におけるコン ピュータ技術の活用、 電子図書館、デジタル アーカイブ、電子書籍 を概説する。	講義と質疑応答 PPtで解説	今後の授業内容を理解 する。図書館における コンピュータ技術の活 用、電子図書館、デジ タルアーカイブ、電子 書籍の基本的な概念に ついて理解する。	(復習) 図書館における コンピュータ技術の活用 についてまとめておく。 (予習) 15回の授業内容 と2回目の内容(コン ピュータの歴史)を確認 し、インターネットを利用 して調べをする。	180	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
2	コンピュータの構成と ネットワークの仕組み を解説する	講義 PPtで解説	コンピュータ技術の変 遷を知り、ネットワー クの仕組みを理解する	(復習) コンピュータ とネットワークの仕組 みを理解できるよう確 認する。 (予習) 図書館が提供 している検索システム やデジタルデータにつ いて検索してみる。	180	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
3	インターネットの仕組 みと検索エンジン、イ ンターネット上の代表 的なサービスについて 解説する	講義 PPtで解説 ネット検索	インターネットの概要 と代表的なサービスに ついて理解する。	(復習) インターネッ トの活用の現状につ いて確認する (予習) いろいろな図 書館のOPACを検索し てみる。	180	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
4	図書館のコンピュータ システムの概要につ いて解説する。	講義 PPtで解説 ネット検索	図書館のコンピュータ システムの概要を理解 する	(復習) 図書館蔵書検 索について確認する (予習) 図書館に向 いて本を借りてみる。	180	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
5	図書館システムと連動 するその他の機器につ いて解説する。	講義 PPtで解説	図書館のいろいろな業 務にかかわる機器やそ の仕組みを理解でき る。	(復習) 地元の図書館へ 出向いて、資料検索シ ステムや自動貸出機など 実際に使われている様 々な機器について確認 する。 (予習) いろいろな図 書館のホームページを 検索し、どんなメニュ ーがあるか調べる。	180	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
6	図書館のコンピュータ システムを活用した利 用者サービス(OPAC、 貸出等)と利用者管理 (貸出管理、利用者管 理システム)を解説す る。	講義 PPtで解説 ネット検索	情報技術を活用した図 書館の利用者サード サービスの仕組みを理 解できる。	(復習) 地元の図書 館のインターネットを 通じたサービスを利用 してみる。 (予習) 国立国会図 書館のホームページに アクセスしてどんなメ ニューがあるか確認 する。	180	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
7	いろいろな図書館が提 供するインターネット 上のデータベースなど のサービスを理解す る。	講義 PPtで解説 ネット検索	いろいろな図書館が提 供するインターネット 上のデータベースなど を利用できる。	(復習) 国立国会図 書館のデータベースを 検索してみる。 (予習) 岡崎市立中 央図書館の「郷土コレ クション」を検索して みる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
8	いろいろな図書館が提 供するデジタルアーカ イブについて理解す る。	講義 PPtで解説 ネット検索	いろいろな図書館が提 供するデジタルアーカ イブを利用できる。	(復習) いろいろな図 書館の提供するデジ タルアーカイブを検 索してみる。 (予習) 愛知県図 書館の電子書籍を使 ってみる。	180	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	オンデマンドデジタルアーカイブサービスに関する映像と第8回講義で紹介した図書館や地元の図書館などを踏まえて図書館が提供するデジタルアーカイブについて今後どのようなサービス展開が考えられるか、自分なりにまとめてレポートを作成する。	オンデマンド講義で提示した図書館紹介に基づきレポートを作成する。	これからの図書館におけるデジタルアーカイブの在り方について自分なりの考えをわかりやすく説明できる。	(復習) これまでの講義で紹介した図書館のデジタルアーカイブについて再確認を行う。 (予習) 図書館の提供する電子書籍を検索してみる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	いろいろな図書館が提供する電子書籍の現状について理解する。	講義 Pptで解説 ネット検索	図書館が提供する電子書籍の現状について理解し、利用できる。	(復習) 愛知県図書館の電子書籍を使ってみる。 (予習) いろいろな図書館のホームページを検索し、どんなSNSのメニューがあるか調べる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
11	図書館の広報活動と情報発信の現状を活用事例について解説する。	講義 Pptで解説 ネット検索	図書館の広報活動と情報発信の現状を理解できる。	(復習) 地元の図書館のSNSの活用の仕方を確認する。 (予習) 著作権法の第31条を図書館でコピーしてみる。	180	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	知的財産権と著作権について解説する。	講義 Pptで解説	知的財産権と著作権について理解できる。	(復習) テキストの図書館での著作権対応に関する箇所をもう一度読んでみる。 (予習) 新しい情報技術と図書館での活用についてテキストの該当箇所を読む。	180	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	情報セキュリティとシステム保守。学校図書館と情報技術及び新しい情報技術と図書館での活用について講義する。ワークショップ「図書館とAI」のグループ分け。	講義 Pptで解説 グループ討議 (ワークショップ)	情報セキュリティとシステムの保守及び学校図書館と情報技術の概要について理解する。新しい情報技術と図書館での活用について自分なりの考えを持つことができる。	(復習) テキストの該当部分を精読する。 (予習) 図書館サービスを自分なりにAIの仕事、人の仕事、わからない、に分けてみて、その理由をまとめておく。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	ワークショップ「図書館とAI」グループで洗い出した現在の図書館サービスとこれから図書館が担うべきサービスをAIの仕事、人の仕事に分けてその理由をまとめてレポートを作成する。	ワークショップ レポート作成	レポート作成のための情報収集とまとめ方が理解できる。	(復習) 発表の原稿を確認する。 (予習) 発表の練習をする。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	発表・まとめ ① 図書館とAI グループレポート発表 ② 授業1回～14回まとめ	発表 プロジェクターによる資料提示 ① ②に対してフィードバック	発表の内容をわかりやすく説明できる。 発表者の説明を傾聴できる。	(復習) 発表の原稿を確認し、発表の練習をする。 (復習) これからの図書館が担うべき役割について考察し、レポートを作成する。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力